

# 小樽商科大学の留学制度について



令和7年4月  
新入生オリエンテーション

# 小樽商大の留学制度

商大の留学制度は、大きく分けて以下の2つがあります。

- 交換留学（半年～1年間）
- 語学研修（夏季派遣または春季派遣）

次ページから、順番に紹介していきます。

# 交換留学とは？

交換  
留学

行先は？	商大と「学生交換協定」を締結している協定校へ留学します（次ページ一覽参照）。
何が学べる？	派遣先大学で開講されている通常の科目を履修できます。留学生向けの語学科目がある場合もあります。 派遣先で履修した科目は、審査のうえ本学の単位に認定できます。
留学期間は？	1～2学期間（約半年～1年間）です。出発時期は毎年8～9月頃または2～3月頃です（派遣先により異なります）。なお交換留学の期間は、商大への在学期間として扱われます（休学になりません）。
費用は？	派遣先の授業料等は不徴収です。 <u>ただし商大の授業料は継続して支払う必要があります。</u> その他に渡航費と滞在費がかかります。
募集時期は？	5～7月・11～翌1月の年2回です。時期により派遣先が異なります。
参加するための条件は？	<ul style="list-style-type: none"><li>・学内選考があります。面接試験の結果と、学業成績・語学力などを基本に総合的に審査しています。</li><li>・どこの国・地域への応募であっても、応募書類として「<u>TOEFLスコア</u>」が必須です（TOEICではありません！）。学内のTOEFL ITPテスト開催スケジュールをチェックしておきましょう。</li></ul> 応募時点でスコアによる制限はありませんが、「TOEFL ITP500（iBT61）」が目安です。協定校によっては、より高いスコアが必要になります。

# 学生交換協定のある協定校

協定校名
オタゴ大学（ニュージーランド）
ウーロンゴン大学（オーストラリア）
台北商業大学（台湾）
香港バプテスト大学（香港）
マラヤ大学（マレーシア）
ベトナム国家大学ホーチミン市国際大学（ベトナム）
オウル応用科学大学（フィンランド）
シェフィールド大学（英国）
ウエスタンミシガン大学（アメリカ）
オグレスープ大学（アメリカ）
サウスダコタ大学（アメリカ）



教育言語が「英語のみ」の協定校です。  
すべての授業を英語で履修できます。

協定校名	教育言語
ロシア極東連邦総合大学（ロシア）	露
忠南大学校（韓国）	韓（一部英）
東北財経大学（中国）	中
蘭州大学（中国）	中（一部英）
ウィーン経済大学（オーストリア）	独・英
バイロイト大学（ドイツ）	独・英
ベルリン経済・法律大学（ドイツ）	独・英
エクス=マルセイユ大学（フランス）	仏・英
ブルゴス大学（スペイン）	西（一部英）



教育言語に「英語以外」を含む協定校です。  
英語による授業を選択できる場合もありますが、選択の幅は協定校ごとに異なります。

各協定校についての詳細はこちら：商大HP協定締結校一覧  
[https://www.otaru-uc.ac.jp/international/partner\\_univ/](https://www.otaru-uc.ac.jp/international/partner_univ/)

# 交換留学の奨学金

- ・ 交換留学の参加者には、渡航支度金として、派遣先の地域に応じた金額の奨学金（返還不要）が支給されます。金額の目安は下表のとおりです。
- ・ この奨学金は、商大の同窓会「緑丘会」の財団である「小樽商科大学後援会」の助成金より支給されます。支援を受ける方はぜひ緑丘会の会員となり、将来の商大生を支援していただきたいと思ひます。

## 小樽商科大学後援会助成金奨学金（目安）

ヨーロッパ	20万円
アメリカ	18万円
オセアニア	15万円
アジア	10万円

※金額は、その年度の参加者数によって変動する場合があります。

# 語学研修とは？

語学  
研修

行先は？	商大が認定する海外の大学等における語学研修です。オンラインで実施されるプログラムも含まれます。 募集の際には、協定校が実施するプログラムを紹介します。自分で見つけたプログラムでの申請も可能です。
何が学べる？	商大が科目として提供している7言語が対象です。 帰国後に所定の語学検定試験結果（英語であればTOEFL）を提出することで、 <b>語学の卒業所要単位</b> への認定ができます。「履修の手引き」に掲載されている「留学による単位認定について→語学研修における単位認定について」もご確認ください。
留学期間は？	夏季休業または春季休業期間内で、3週間以上です。
費用は？	プログラムごとの参加費、渡航費、滞在費がかかります。 金額は派遣先によって非常に幅がありますが、参加者数の多いオタゴ大学（ニュージーランド）のプログラムでは、総額60～70万円程度かかっているようです。
募集時期は？	4～5月（夏季派遣）・9～10月（春季派遣）の年2回です。
参加するための条件は？	学内選考はありません。基本的には誰でも参加できます。 ただし個別のプログラムごとの要件（事前の語学レベル指定や、人数制限など）により、参加が制限される場合もあります。 <b>※語学研修は奨学金の対象とはなっていません。</b>

# 留学までの準備

## ■ 大学の授業をきちんと受けること

交換留学の選考においては、GPAを評価に用います。本学での「良い学業成績」を心がけましょう。

## ■ TOEFLを受験すること

留学にはTOEICではなく、TOEFLのスコアが必要です。学内外のテスト開催スケジュールをチェックし、計画的に受験しましょう。

## ■ 毎年春の学内健康診断を受けること

留学の募集の際には、必ず応募者の健康診断結果を確認します。学内健康診断を受けていない場合、外部受診が必要になります。

## ■ 学研災に加入すること

留学の際には、大学が指定する海外旅行保険への加入を義務付けており、その前提として学研災への加入が必要です。

# 留学に興味が出てきたら...

- 留学に関する募集や情報は、manabaの学内掲示板のコースでお知らせします。また、学内の国際交流関係の掲示板にも掲示します。こまめにチェックしてみてください。
- 留学や国際交流に関する個別のご相談も、随時受け付けています。下記担当宛に、学生センターのカウンターで気軽にお声がけください。電話やメールでのお問い合わせも、お待ちしております！

担当 学生支援課国際交流室（学生センター内）

窓口対応：平日 8:30～12:00、13:00～17:15

TEL：0134-27-5262

E-Mail：[inljimu@office.otaru-uc.ac.jp](mailto:inljimu@office.otaru-uc.ac.jp)